



これが年末手当満額を求める

～住環境支援～

職場の声だ！

私たちの
要求！

年末手当
3.2ヶ月

基準内賃金の(エルダー社員
は基本賃金の)

急激な物価上昇に対する
生活保障分

0.3ヶ月

基準内賃金の(エルダー社員
は基本賃金の)

寮・社宅の
退去期限の延長
賃貸住宅援助金
の増額

物価が上がっているが、賃金が上がっていないと感じない。社宅も廃止・退去、生活が成り立たない。生活が苦しい。このような状況なのだから、年末手当は要求に対して満額出すべきだ！

社宅廃止しても住宅援助金どころか還元をなぜ増やさないのか！

会社は福利厚生を切り崩して魅力もない。社宅もなくし、社員の生活設計を何も考えていない！

会社の信頼を損なわないように社員は奮闘してきた。福利厚生を切り崩して魅力もない。社宅もなくし、社員の生活設計を何も考えていない！社員のモチベーションを上げ、さらなる会社の経営が向上するために満額を支給すべき！

社員の声を聞き入れずに物事を進めるので、「会社が言う『社員と家族の幸せ』って何なんだ！」と不満の声が出始めています。そして追い討ちをかけるように、「鉄道事業 4000 名の削減方針」を社員が報道で知る事態が発生するなど、日に日に会社に対する不信と不満と不安が増大しています。黒字転換は現場第一線の社員の奮闘によって成し遂げたものだとしっかり認識していただいた上で、年末手当の満額回答を求めるものです

第2回交渉は 11月8日 13:00 開催！